
smile

れもん帝

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

smile

【Nコード】

N0284N

【作者名】

れもん帝

【あらすじ】

人が死んだ後に行く空想世界。

そこで繰り広げられるマジックファンタジーが、今、始まる！！

序章

空想世界。それは死ぬ前に現世で人を助けたものが行く場所。この世界に来たときの年齢は、現世で死んだときの、そのままの年齢になる。この世界に存在する場合、死んではいるが、現世では植物状態ということになっている。前世で肉体が消えた場合は、空想世界でも存在が消える。空想世界で存在が消えた場合、現世の肉体も消える。

その日はとても蒸し暑い日だった。僕はいつものように学校に向かうため、電車をホームで待っていた。ここで自己紹介でもしておこうか。僕は、四月一日司。これで「わたぬきつかさ」読む。平均的な学力の高校2年で、成績は普通。運動もそこそこ。唯一誇れるなら、剣道の2段だということぐらいか。これも強引に親に習わされて、気がついたら二段になっていた。そうだ！ちなみに彼女はいない17歳です！！！！

自己紹介はここまでにして本題に入ろうか。こんな普通な高校生の僕の人生が、大きく変わったわけを。

今でもたまに思う。自分の人生がここまで変わるとは思わなかったよ。

序章（後書き）

この度初めて小説書いてみました。できにあまり自信はないのですが、

この小説を読んでももしろいっ！！と、思ってくれたらとてもうれしいです。

これからも、がんばって続けたいと思うので、存分に楽しんでください。

第1章 死！？（前書き）

ホームで司は、一人の可愛らしい少女を見つける。

少女が、ホームから線路に飛び降りるのを見ていた司は、少女を助けようと線路に入ったのだが・・・

第1章 死！？

電車が来る何分前になる音がした。

僕は、操り人形のようにふらふらと電車の乗り口が来るであろう所に、歩いていった。

後は、電車が着て止まるのを待つだけだった。電車はまだかと横に目をやると、

そこには可愛らしい少女がたっていた。かなりホームぎりぎりの所に。

その少女の後ろからは、見事に少女の服と会わない電車が来ていた。その時、僕は、本能的にその少女がしようとしていることを悟った。僕はかばんを投げ出し、その少女のもとに走った。

僕の本能は、まだいかれてはならないらしい少女は練習でもしていたかのように飛び降りたのだった。

僕もホームから飛び出し、線路に下りた後その少女をホームに掬い上げ、自分もホームに戻ろうとした時

真横から暴れ牛が、僕に突進し僕をホームに跳ね上げたのだった。跳ね上げられてからの記憶はない。

ただ、ひとつだけ。
助けた少女が少しばかり喜んだような顔で、

「よつこそ」

といったような気がした。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0284n/>

smile

2010年10月15日21時13分発行